

平成27年度

岡山大学大学院法務研究科
法学未修者後期入試
小論文問題

- 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 問題冊子は、この表紙を含めて合計7枚あります。
- 解答は解答用紙に横書きで記入してください。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題 以下の[文章]を読んで、次の問いに答えなさい。

【設問 1】

[文章]から把握できる救急医療の危機についての客観的事実を 200 字以内でまとめよ。

【設問 2】

各自治体で検討されている対策にはどのようなものがあるか 5 つにまとめ、200 字以内で記述せよ。

【設問 3】

119 番トリアージの実施に対して予想される懸念を挙げ、それに対する反論を 1,200 字以内で記述せよ。

[文章]

出典：樋口範雄『医療と法を考える』（有斐閣、2007年）202頁以下。

*なお、出題の都合上、文章の一部を省略・加工している。

【出題意図】

特定のテーマについて書かれた問題文を読み、その内容を的確に理解できる能力をみるとともに、提示された設問に対する自己の見解を論理的かつ説得的に論述できる能力をはかることが、出題の意図である。